

SDGs カードを活用した実践授業レポート

中標津町立中標津小学校 太田三菜美

中標津町立丸山小学校 奥村 康史（外国語専科指導）

○今後 SDGs カードを使う先生へ

非常に汎用性のあるカードだと思います。全体で、グループで、ペアで、一人で様々な形態で使うことのできるカードです。すでに色々な教科で気軽に使うことができています。子どもたちも使い方にすぐに慣れました。また、丈夫なため自作したものよりも断然に使いやすいです。

小学校6年生・外国語「This is my town」

テーマ：This is my town～地域の中で SDGs を～

○実施時期

2021年11月頃

○児童・生徒の事前の SDGs 認識

前年度に「総合的な学習の時間」で「中標津の町の未来開発」として SDGs 学習を経験している。

○ねらい

外国語専科指導の教員と共同で外国語に「SDGs」の軸を取り入れて授業作りと実践を行いました。その背景として主に2点を挙げます。

1点目は外国語や外国語活動は他教科と横断させて学習することでより高い教育効果が期待できることです。

2点目は外国語専科にすべて一任してしまうのではなく学級担任と協同して授業を行うことでより子どもたちに寄り添った授業が実践できることです。そしてその中に SDGs の軸を入れることで、学びの多様性をさらに広げることができました。

○学習活動の流れ

前年度総合的な学習の時間で学んだ中標津の町の未来開発での学習経験を生かして、中標津の未来について SDGs の項目と結び付けて、英語で伝える学習を行いました。詳しくは学習指導案をご覧ください。(7時間目及び8時間目)

○児童・生徒の反応

SDGs を意識した将来の中標津の町をイメージできた児童が多く、その町づくりにした理由もとても明確でした。グループで活動したことで、グループ内でも SDGs の目標(ゴール)の設定をするにあたって多様性があり、学習してきたことをつなげて考えようとする姿を見ることができました。

【共同実践授業者の奥村教諭より】

総合的な学習の時間と関連することで自分たちが求める町づくりについてグループで話し合い、英語で伝えたいことを考えることができました。

外国語を通して今までの学習を活かしたことでどのグループも楽しみながらいきいき表現することができていました。

○授業風景



○参考資料

【学習指導案(単元計画)】

作成者：中標津町立丸山小学校 奥村 康史

